



「はあ、はあ、はああ…」

「入れますよ」



「えっ、空くん？
そこは、お尻の穴ですわよ…」



「だめですわ、痛いすわ!」



「あの空くん、入ってきていますわ!」



「そこはいけません
抜いてくださいますせ!」



Episode.4



「はあ、はあ、なんてすばしっこいの
蹴りが当たらない…」



「はあああああ」



「はああ!」



「たああ!!」



「はあっ!!」



「どうして当たらないの?…」

「もうやめてください、麗華さん!」



「うるさい!」





「たああ!!」

(怪我をさせずに、麗華さんを落ち
着かせる方法は、やはりあれしかな
いか…)



「きゃあっ!!」

僕は麗華さんを、投げ飛ばした



「ふん!」

「なっ、なにをする!」



「早く、抜くんだ!」

「麗華さんが
冷静になってくれるまで
抜きません!」

Episode.4





「ねえ、見える？」



「もっと、近くで見て」



「私のオ○ンコ、どお？」

「とても綺麗です！」



「私のアソコを見て、空くんの
オ○ン○ン、大きくなった？」

「はい、とっくに…」



「もっと近くで、空くんの
オ○ン○ン、見せて」

「えっ、は、はい…」



「大きい!そんなに大きいの
私の中に入るかな?」

「えっ?!」



「空くん、オ○ン○ンを
私の中に、入れたい？」

「はい、それは、もちろん」

サンプルは以上です。

全てをご覧になりたい方は、本編をご購読ください。